

基本モジュール



I -02 得意先マスター

得意先マスターの役割

得意先の詳細定義をコンピュータ内部に記憶させる事で、効率的に業務を行う為のマスターです。

得意先マスターは下記3画面で構成されています。

- 登録処理では基本情報と DM 情報を使用します。
- 修正処理でも同様に、基本情報と DM 情報の変更が可能です。
- 請求情報は基本的に操作しません。

次頁以降で各画面の詳細を説明します。

得意先マスターメンテナンス (Win32 NT)

得意先コード 011111 [] 検索非表示

得意先名 [] 取引先区分 4-貿取 1 [] 2回連用 0-無 [] 總合登録

略称カナ [] 電話番号 [] 締日 [] 回收サイン 2-翌月 []

郵便番号 [] FAX番号 [] 回收予定期 []

住所1 [] メールアドレス []

住所2 [] 駐路 []

納品規制 0-納品可能 [] 取引限度額 [] 指定コード []

ブランド [] -なし [] ランク [] 社店コード []

入金口座 [] 入金率 100.00% [] 分類コード []

伝票種別 なし [] 振込手数料 [] 伝票区分 []

伝票発行 1-有 [] 税額金額 [] 品別番号 []

行歴 行歴 [] 入金率 100.00% [] その他 []

割引率 60.00% [] TAX計算有無 0-有 []

担当者 [] 振込手数料 [] TAX発生区分 0-締め単位 []

Faceコード [] TAX発生区分 0-締め単位 []

地区コード [] 送り状区分 0-無 [] TAXの締跡丸め []

送り状区分 0-無 [] TAXの締跡丸め []

請求情報 (A) DM情報 (B) 総類表示設定 (C) [] 更新 (U) テーブル (R) 中止 (S) 終了 (E)

このまま、Enterキーを押下するか、マウスクリックすると、DM情報画面を呼出します。

得意先マスター壳掛金情報 (Win32 NT)

得意先マスターメンテナンス 壳掛金情報

登録

売上		入金	
前回請求金額	0	今回品代入金	0
今回売上	0	今回相談額	0
今回返品	0		
今回残り引き	0		
今回残売上	0		
今回消費税	0.00	今回入金合計	0

得意先 締年内月 []

売上		入金	
前月売上金額高	0.00	今回品代入金	0
当月売上	0	今回相談額	0
当月返品	0		
当月残り引き	0		
当月残売上	0		
当月消費税	0.00	入金合計	0

当月総売上金額高 []

請求情報 (A) DM情報 (B)

前回請求額を設定して下さい。

販売管理運用時の売掛金(月間)、請求金額(締め間)
集計情報などが記載されています。
基本的に修正禁止(修正した履歴が残らないため)

得意先マスター壳掛金情報 (Win32 NT)

得意先マスターメンテナンス DM情報

登録

得意先名		郵便番号	
略称カナ []	住所1 []	電話番号 []	FAX番号 []
住所2 []	役職 []	担当者 []	

DM項目

年賀状	1-有 []
暮中見舞い	1-有 []
展示会	1-有 []
御中元	1-有 []
御歳暮	1-有 []
御挨拶	1-有 []
その他	1-有 []

使用形態

伝票	1-有 []
DM	1-有 []
送り状	1-有 []

基本情報 (A) 請求情報 (B)

得意先名を、全角20文字半角4文字以内で入力して下さい。

販売管理運用時の DM 発行サイン設定、及び出荷管理、販売管理-入金先における別納品先指定等の設定を行います。

販売管理を使用しない場合は DM 情報画面の DM 項目は使用しません。

基本モジュール



マスター管理のコードについて

コードとは文書のキーであり、瞬時に検索する場合や、更新する場合などに大きな役割を果たします。

マスターの処理によってコードの長さは異なりますが、左詰めの文字列であることは共通です。

例えば、「123」「0123」「00123」は数値としては同じですが、文字列としては別物であり、並べ替えにより序列は変わります。つまり前0も文字コードとしてみなされます。

よってコードの長さは出来るだけ統一して割り付けることをおすすめします。

登録を開始する前に得意先コードについて説明を行います

得意先コードの構造

得意先コードは6桁+4桁となります。

①入金先

1	2	3	4	5	6
6桁			4桁		

②支店

7	8	9	10
計 10桁			

入金先とは売掛金が回収される得意先を指します。(例:ABC 本社)

支店とは住所が異なり売上を分けて集計する事業所等を指します。(例:ABC 原宿店)

<登録に際しての注意>

◎新規入金先の入力

①に任意のコードを入力してEnterキーを押します。

支店の有無にかかわらず②を自動的に飛ばして得意先名で入力待ちとなります。

◎新規支店の入力(支店を先に登録する事は不可能)

①に登録済の入金先コードを入力しEnterキーを押します。

入金先の情報が表示され、②の支店コードを入力してEnterキーを押します。

得意先名が変更できるようになります。

※支店入力の場合、入金先と共通の部分は変更できません(例:締日や伝票種別など)。

※印刷物の関係上、得意先名は出来る限り入金先名を付けるべきです。

例)入金先は株式会社東光 支店は原宿支店の場合、

支店得意先名=「株式会社東光 原宿支店」となります。

上記のような構造となっているため、支店単独での登録は不可能です。

得意先コードのデータ形式は文字タイプのため、前0は文字と認識されます。

操作方法

処理選択

得意先マスター処理を起動すると自動的に「登録」画面が表示されます。

必要に応じて「登録」・「修正」・「削除」処理をマウスやキーボード操作で選択します。

以下

I -02-1 [登録]処理は(P.3)で説明します。

I -02-1_1 [請求情報]処理は(P.8)で説明します。

I -02-1_2 [DM情報]処理は(P.10)で説明します。

I -02-1_3 [総額表示設定]処理は(P.12)で説明します。

I -02-2 [修正]処理は(P.13)で説明します。

I -02-3 [削除]処理は(P.14)で説明します。

I -02-4 [リスト]処理は(P.15)で説明します。

I -02-5 [2回締め]処理は(P.16)で説明します。

基本モジュール



I -02-1 得意先マスター [登録]処理

[登録]処理説明

ここでは得意先マスターの登録について説明します。

操作説明

1. 処理区分の選択

初期値は登録モードとなります。

左上の[処理(F)]から[登録(A)]をマウスでクリック、またはアクセキーを押します。



2. 得意先コードの入力

英数字 6 文字以内で入力します。

3. 支店コードの入力

*本社となるような得意先が先に登録されていることが前提となります。

英数字 4 文字以内で入力します。

以下、A Block～E Block までを項目説明に従い基本情報画面を入力します。

DM 情報画面を入力し、基本情報画面で更新ボタン(U)を押し登録が終了します。

各項目説明は次頁で説明します。

但し、D Block では百貨店、チェーンストアー統一伝票を発行しない限り入力は不要です。

また、E Block は取引先区分が「1-路面」「2-直営」「3-FC」の選択時のみ使用します。

The screenshot shows the 'Customer Master Maintenance' window with several input blocks labeled A through E:

- A Block:** Contains fields for Customer Code (011111), Customer Name, Alias, Postcode, Address 1, Address 2, Phone Number, Fax Number, Email Address, Route, Delivery Terms, Brand, and Payment Method.
- B Block:** Contains fields for Delivery Type (0-無), Delivery Date, Collection Date, and Delivery预定 Date.
- C Block:** Contains fields for Delivery Type (なし), Delivery Date (1-有), Delivery Date (行数), Delivery Rate (60.00%), Delivery Person, Face Code, Region Code, and Delivery Status (0-無).
- D Block:** Contains fields for Delivery Type (0-無), Delivery Date (1-有), Delivery Date (行数), Delivery Rate (100.00%), Delivery Person, Face Code, Region Code, and Delivery Status (0-無).
- E Block:** Contains fields for Sale Area (0-無), Contract Area (0-無), Circulation Area (0-無), FA Responsibility (0-自社), Floor (0.0), Staff Count (0), Opening Date, and Closing Date.

At the bottom, there are buttons for '請求情報 (A)' (Billing Information), 'DM情報 (B)' (DM Information), '分類表示設定 (C)' (Classification Display Setting), '更新 (U)' (Update), '戻る (R)' (Back), '中止 (S)' (Cancel), and '終了 (X)' (End).

基本モジュール



項目説明(*は入力が必須の項目です) 「入金先準拠」は支店入力時に変更できない項目です。

A Block				
項目名	属性	入力桁数	入金先 準拠	説明
得意先名				通常漢字で入力します。半角全角混在可能です。但し、外部提出帳票以外の納入先名印字は全角15文字以内が多いので、短く登録することをお勧めします。
略称カナ	入力	半角 10 桁		半角カナで入力されます。得意先の検索等で使用します。
取引先区分	選択			0~6 を選択します。初期値は「4-買取1」です。 0-倉庫、1-路面(運用によっては委託になる)、2-直営、3-FC、 4-買取1、5-買取2、6-他買取、から選択可能です。 区分名は導入時に変更が可能です。 取引先区分とは受注・出荷・Shop で買取、移動を区別するために用いる区分です。出荷の際、0~2 は移動、3 は FC 売上、4~6 は卸売上となります。そのため 0~3 は店別在庫管理を行うことができます。但し 3-FC は移動となる場合があります。 1-路面、2-直営、3-FC 選択時、E Block が表示されます。 0-倉庫、1-路面、2-直営、3-FC 選択時、「入金口座」の横に「検品実施」のチェックが表示されます。(検品機能導入時) 1-路面選択時、既定の出荷を「移動」「買取」から選択できます。
郵便番号	入力	半角 10 桁		ハイフン付きで入力します。例:151-1522
住所1	入力	全角 20 桁		通常漢字で入力します。半角全角混在可能です。 郵便番号を入力すると都道府県、市町村が自動で入力されます。 残りの番地は手入力します。
住所2	入力	全角 20 桁		通常漢字で入力します。半角全角混在可能です。建物名などを入力します。
電話番号	入力	数値 14 桁		ハイフン付きで入力します。例:03-3404-2961
FAX 番号	入力	数値 14 桁		ハイフン付きで入力します。例:03-3404-3840
メールアドレス	入力	半角 255 桁		半角英数と半角記号で入力します。
業種	入力	半角 6 桁		業種マスターに登録した業種のコードを入力します。
納品規制	選択			出荷入力、売上入力で警告されます。 0-納品可能 1-出荷停止 Level1 2-出荷停止 Level2 3-取引停止 (初期値は 0 です)
取引先限度額	入力	数値 9 桁	○	取引限度額を入力します。 取引先限度額とは一入金先における買上限度(請求)額です。 そのため販売管理の請求一覧表で限度額を超過した場合、 ▲印を印字して警告し注意を促します。
ブランド	選択			ブランドマスターに登録したブランドをプルダウンメニューから選択します。
ランク	入力	半角 3 桁		コードを任意に設定します。(コード長は揃えること推奨) 主に出荷管理の配分優先順位に使用します。 例として A~Z 又は 000 から 999 などが登録可能です。
入金口座	選択		○	銀行マスターの口座を選択します。

基本モジュール



B Block

項目名	属性	入力桁数	入金先 準拠	説明
2回締運用	選択		○	オプション機能で、ON の場合のみ選択が可能です。「1-有」に変更すると、回収予定日の下に2回目の締日・回収サイン・回収予定日の欄が表示されます。
*締日	入力	数値 2 桁	○	数値 01~31 で入力します。月末締めは 30、28 の月末の場合でも、31 と入力します。
回収サイン	選択		○	0~6 の回収サインを選択します。初期値は「2-翌月」です。 0-不定、1-当月、2-翌月、3-翌々月、4-3箇月後、 5-4箇月後、6-5箇月後、から選択できます。
*回収予定日	入力	数値 2 桁	○	数値 01~31 で入力します。月末が回収日なら 30、28 の月末の場合でも、31 と入力します。
*2回目締日	入力	数値 2 桁	○	2回締運用が「1-有」を選択時のみ表示されます。 前出の「締日」と同じですが、カレンダー日付から見て 1 回目締日より後ろの日付で設定します。
2回目 回収サイン	選択		○	2回締運用が「1-有」を選択時のみ表示されます。 前出の「回収サイン」と同じです
*2回目 回収予定日	入力	数値 2 桁	○	2回締運用が「1-有」を選択時のみ表示されます。 前出の「回収予定日」と同じです

※B Block の上にある「検索非表示」のチェックボックスをオンにすると、

出荷管理や販売管理などで得意先を検索するときに、一覧表に表示させないようにする機能です。

「検索非表示」が OFF(○デリバリーセンター)

Code	ナキ	得意先名称	電話番号
00002 -		○デリバリーセンター	12-3456-0002
00003 -		本社倉庫	12-3456-0003
00004 -		卸倉庫	12-3456-0004
00009 -		千葉営業所	12-3456-0009
00050 -		本社別館倉庫	
0007 -		東光店舗	03-9876-5432
0007 -05		東光店舗 銀座店	03-9876-5432

□ 検索非表示

2回締運用	0-無
締日	
回収サイン	2-翌月
回収予定日	

「検索非表示」が ON(○デリバリーセンター)

Code	ナキ	得意先名称	電話番号
00003 -		本社倉庫	12-3456-0003
00004 -		卸倉庫	12-3456-0004
00009 -		千葉営業所	12-3456-0009
00050 -		本社別館倉庫	
0007 -		東光店舗	03-9876-5432
0007 -05		東光店舗 銀座店	03-9876-5432

基本モジュール



C Block				
項目名	属性	入力桁数	入金先 準拠	説明
*伝票種別	選択		○	使用する伝票種別を選択します。初期値は「なし」です。
伝票発行	選択			伝票発行の有無を選択できます。
*卸し率	入力	数字 3~5桁		0.01~100.00 の範囲で登録が可能です。整数のみ入力した場合、小数点部分が「.00」で付きます。空欄のまま Enter を押すと「60.00」が設定されます。
*担当者	選択			従業員マスターの従業員を選択します。初期値は「なし」です。
Face コード	入力			使用しません。
部門コード	選択			部門マスターの部門名を選択します。初期値は「なし」です。
送り状区分	選択			0-無、1-佐川急便 1(新)、2-佐川急便 2(旧)、3-福山通運(旧)、4-ヤマト運輸、5-福山通運(新)、6-福山通運 PARCEL1、7-西濃運輸、から選択します。初期値は 0 になります。
請求書発行	選択		○	0-無 1-有、初期値 1-有になります。
繰越し金額	入力	数値 9桁		運用の導入時のみ入力します。 注:請求情報画面の前回請求金額・前月売掛残高が同時に登録されます。修正時は特に注意する必要があります。
入金率	入力	数字 3~5桁	○	100 以下が入力可能です。整数のみ入力した場合、小数点部分が「.00」で付きます。登録時初期値は 100.00%です。
振込手数料	入力	数値 9桁	○	入金額￥30,000 以上の振込手数料の税抜き金額を入力します。初期値は 0 です。
TAX 計算有無	選択		○	消費税の計算の有無を設定します。0-有、1-無、初期値は 0 です。
TAX 発生区分	選択		○	消費税の計算を「0-締め単位」または「1-伝票単位」から選択します。初期値は 0-締め単位です。
TAX 端数丸め	選択		○	消費税の処理区分を選択します。0-切捨て、1-切上げ、2-四捨五入、初期値 0-切り捨てです。消費税施工規則22条により TAX 発生区分が 0-締め日の場合、必ず 0-切り捨てです。

D Block				
項目名	属性	入力桁数	入金先 準拠	説明
指定コード	入力	数値文字 10桁以内		チェーンストアー統一伝票=取引先コード、百貨店買取委託伝票=取引先コードとなります。
社店コード	入力	数値文字 10桁以内		チェーンストアー統一伝票=社店コード、百貨店買取委託伝票=百貨店となります。
分類コード	入力	数値文字 10桁以内		チェーンストアー統一伝票=分類コード、百貨店買取委託伝票=店別となります。
伝票区分	入力	数値文字 10桁以内		チェーンストアー統一伝票=伝票区分となります。
品別番号	入力	数値文字 10桁以内		百貨店買取委託伝票=品別番号、販売管理売上入力画面では変更も可能です。
その他	入力	数値文字 10桁以内		オプション以外使用しません。

基本モジュール

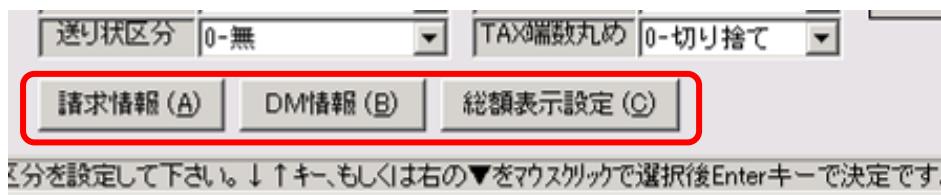


E Block

項目名	属性	入力桁数	入金先 準拠	説明
売場区分	選択			売場の区分を選択します。0-無、1-路面店、2-In Shop、3-平場、4-コーナー、5-催事、初期値は0です。
契約区分	選択			契約の区分を選択します。0-無、1-買取、2-委託可、3-完全委託、4-売上仕入、初期値は0です。
流通区分	選択			流通区分を選択します。0-無、1-路面店、2-百貨店、3-ファッショビル、4-モール、5-EC、初期値は0です。
FA 負担	選択			FAの負担を選択します。0-自社、1-代行、初期値は0です。
坪数	入力	数値 整数4桁 小数1桁		売場の坪数を0.0~9999.9の範囲で入力します。整数のみ入力した場合、小数点部分が「.」が自動で付きます。
人員数	入力	数値3桁		売場の人数を入力します。
開店日	入力	数値8桁		開店日を入力します。yyyy/mm/ddの形式となります。
閉店日	入力	数値8桁		閉店日を入力します。yyyy/mm/ddの形式となります。
在庫管理	選択			在庫管理の有無を選択します。0-有、1-無、初期値は0です。

請求情報・DM情報などを入力する場合は、各ボタンを押します。

(各ボタンについては次のページ以降で説明しています。)

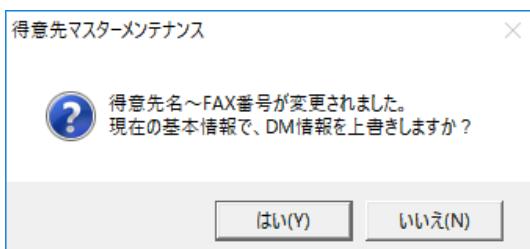


請求情報・DM情報などを入力しない場合は更新ボタンを押します。

4. **更新ボタン**
入力したデータを登録します。
5. **デフォルトボタン**
得意先コードと支店コード以外の入力中のデータを消去します。
6. **中止ボタン**
得意先コードと支店コードも含め全ての入力中のデータを消去します
7. **終了ボタン**
得意先マスターを終了し、マスター画面に戻ります。

※得意先マスター画面から移動するときに、右のようなメッセージが表示されます。

「はい」を押すとDM情報に得意先マスターのデータが反映されます。



基本モジュール



I -02-1_1 得意先マスター [請求情報]



得意先締め間

得意先締め間とは得意先に指定された売上集計期間のことです。

例: 20日締め
3月度運用の場合

2/21～3/20

会社締め日

自社の売上、仕入、在庫の月次を締める日付のことで、通常は20日または月末となっています。

例: 月末31日
3月度の場合

3/1～3/31

請求書情報は請求情報(得意先の締め間(10,20,31日締め)集計)と、経理情報(月間(会社締め日)集計)で構成されており、販売管理のデータと連携して自動的に集計されます。

よってマスター登録時はNBS運用以前のデータを入力することはありますが、NBS運用後のデータの入力や修正は不要となります。

★各項目の修正について

原則的に修正を行うことは厳禁です。

修正を行うことにより請求明細と請求情報で差異が生じたり、変更の履歴が残らないため社内的に問題となる恐れがあるためです。

但し、データベース破損や操作等のミスにより各項目の数値を修正することはあります。

得意先マスター売掛金情報 (Win32 NT)

処理 (F) 画面印刷 (H)

登録 得意先マスターメンテナンス 売掛金情報

諸 求 情 報	売上		入金	
	前回請求金額	174,960	今回品代入金	1,455,000
	今回売上	1,620,000	今回相殺額	2,592
	今回返品	0		
	今回値引き	0		
	今回純売上	1,620,000		
	今回消費税	129,600.00	今回入金合計	1,457,592

得意先 締め年月
201609

今回税込請求金額
466,968.00

経 理 情 報	売上		入金	
	前月売掛金残高	0.00	現金	21,600
	当月売上	182,000	小切手	0
	当月返品	0	手形	0
	当月値引き	0	振り込み	0
	当月相殺	0	相殺	0
	当月粗利	82,200	手数料	0
	当月純売上	182,000	消費税	0
	当月消費税	14,560.00	入金合計	21,600

当月税込売掛金残高
174,960.00

基本情報 (A) DM情報 (B)

前回請求額を設定下さい。

入金先は上記画面の全項目を使用します。

支店は請求情報の前回請求金額、及び今回品代入金、今回相殺額、経理情報の前月売掛金残高、入金項目については使用しません。

上記画面の「請求情報」から請求書発行が行われます。

経理情報は月次処理の売掛金管理表等で使用されます。

基本情報ボタンで得意先マスターの画面に戻り、DM情報ボタンでDM情報の入力画面へ移動します。

基本モジュール



[売掛金残高の登録手順] (※販売管理が運用されている場合)

1. 得意先マスターの登録
基本情報を入力しておきます。
2. 基本情報の繰越し金額項目の入力
消費税を含む売掛金残高を入力します。
3. 運用の開始
売上入金入力を行い請求書発行等を行います。

但し、マスター登録後・締め日更新処理実行前であれば、2.の繰越し金額項目を運用後に入力することも可能です。

残高登録時点では、請求情報の前回請求金額項目と前月売掛金残高は同一の金額となります。そのため、月末締め日以外の得意先では一回目の請求書発行を旧システムでの請求書と NBS の販売管理請求書で提出しなければならぬ場合があります。

例 会社締め日=31日、NBS 販売管理の切り替え=3月31日とした場合、4月20日の請求作業は、

旧システムで3月21日～3月31日

NBS の販売管理で4月1日～4月20日 となります。

得意先マスターメンテナンス (Win32 NT)

処理 (F) 画面印刷 (H)

得意先マスターメンテナンス 20年10月度

登録

得意先コード	40038	□ 検索非表示	
得意先名	☆株式会社トスインターナショナル	2回繰り用	0-無
略称ナ	トスインター	取引先区分	4-買取1
郵便番号	151-0051	締日	31
住所1	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-24-151	回収サイン	2-翌月
住所2		回収予定日	31
電話番号	12-3456-0038	FAX番号	12-3456-1038
メールアドレス			
販路			
納品規制	0-納品可能	取引限度額	0
ブランド	-なし	ランク	6
入金口座	101---きょくじつ銀行	---原宿南支店	
伝票種別	1 自社伝票 買取	7行 00000062	
伝票発行	1-有	請求書発行	1-有
行数	7行	繰越し金額	216,384
割引率	100.00%	入金率	100.00%
担当者	000 -大井徳三	振込手数料	800
Faceコード		TAX計算有無	0-有
地区コード	-なし	TAX発生区分	0-締め単位
送り状区分	1-佐川急便1(新)	TAX端数丸め	0-切り捨て

備考欄

請求情報 (A) DM情報 (B) 総額表示設定 (C) 更新 (U) 呼出時(B) 中止(S) 終了(X)

得意先名を、全角20文字半角40文字以内で入力して下さい。



I -02-1_2 得意先マスター [DM 情報]

この画面は「①送り先情報」、「②使用形態」、「③DM 発行項目」で構成されており、納品書(伝票)やDMの送り状印刷に使用されます。1つの得意先コードに対して1つの送り先のみ指定が可能です。

<p>①送り先情報</p> <p>請求書住所と、納品書・DM・送り状住所が異なる場合に支店登録を行わなくても、この送り先情報で運用が可能です。登録処理で基本情報を複写でき、必要に応じて項目を変更します。</p> <p>得意先 処理 (F)</p> <p>登録</p> <p>☆株式会社トスイナショナル</p> <p>送り先名: 株式会社トスイナショナル 略称カナ: トスイナショナル 郵便番号: 151-0051 住所1: 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-24-16 住所2: 電話番号: 12-3456-0038 FAX番号: 12-3456-1038 役職: 担当者:</p> <p>使用形態</p> <p>伝票: 1-有 DM: 1-有 送り状: 1-有</p>	<p>DM情報</p> <p>年賀状: 1-有 暑中見舞い: 1-有 展示会: 1-有 御中元: 1-有 御歳暮: 1-有 御挨拶: 1-有 その他: 1-有 その他: 1-有 その他: 1-有 その他: 1-有</p>
---	--

②使用形態

①の送り先情報が登録されている場合、納品書・DM送り状の住所を①の送り状情報にするか、得意先マスターの基本情報にするかが選択できます。
「0-無」は基本情報で出力、「1-有」は送り先情報で出力されます。初期値は「1-有」で設定されていて、▼を押して選択することができます。

③DM 発行項目

得意先単位にDM発行の指定ができます。販売管理の随時処理[DM発行処理]でDM情報を選択し、DMラベルの印刷が可能です。
初期値は「1-有」で設定されていて、▼を押して選択することができます。

基本情報ボタンで得意先マスターの画面に戻り、請求情報ボタンで請求情報の入力画面へ移動します。

基本モジュール



※ 「*」が付いている項目は基本情報から反映が可能な項目です。

①送り先情報				
項目名	属性	入力桁数	入金先 準拠	説明
*送り先名	入力	全角 20 桁		通常漢字で入力。半角全角混在も可能です。
*略称カナ	入力	半角 10 桁		半角カナで入力されます。
*郵便番号	入力	半角 10 桁		ハイフン付きで数値を入力します。例:151-1522
*住所1	入力	全角 20 桁		通常漢字で入力します。半角全角混在可能です。 郵便番号を入力すると都道府県、市町村が自動で入力されます。 残りの番地は手入力します。
*住所2	入力	全角 20 桁		通常漢字で入力します。半角全角混在可能です。建物名などを入力します。
*電話番号	入力	数値 14 桁		ハイフン付きで入力します。例:03-3404-2961
*FAX 番号	入力	数値 14 桁		ハイフン付きで入力します。例:03-3404-3840
役職	入力	全角 20 桁		通常は漢字で入力します。半角全角混在可能です。 販売管理の[DM 発行処理]の「タイプ B」(ア)で使用します。
担当者名	入力	全角 20 桁		通常は漢字で入力します。半角全角混在可能です。 販売管理の[DM 発行処理]の「タイプ B」(ア)で使用します。
②使用形態				
使用形態	選択			伝票、DM タックシール、送り状の宛名それぞれで選択が可能です。 0-無…得意先マスターの基本情報から宛名を引用します 1-有…①送り先情報から宛名を引用します 初期値は「1-有」です。
③DM 発行項目				
DM 項目	選択			販売管理の[DM 発行処理]で発行の抽出条件として使用します。 0-無、1-有、初期値は「1-有」です。 ※「その他」の項目は上から「その他 1」～「その他 4」(イ)の番号になります。

販売管理の[DM 発行処理]画面(一部抜粋)

範囲選択	コード	<input checked="" type="radio"/> 得意先 <input type="radio"/> 担当者
開始		
終了		

取引先区分		
<input type="checkbox"/> 倉庫	<input type="checkbox"/> 路面	<input type="checkbox"/> 直営
<input type="checkbox"/> F C	<input type="checkbox"/> 買取 1	<input type="checkbox"/> 買取 2
<input type="checkbox"/> 他 買 取	<input type="checkbox"/> その 他	全選択 <input type="button" value="全解除"/>

DM項目		
<input type="checkbox"/> 年賀状	<input type="checkbox"/> 夏中見舞い	<input type="checkbox"/> 展示会
<input type="checkbox"/> 御中元	<input type="checkbox"/> 御歳暮	<input type="checkbox"/> 御挨拶状
<input checked="" type="checkbox"/> その他 1	<input type="checkbox"/> その他 2	<input type="checkbox"/> その他 3
<input type="checkbox"/> その他 4		全選択 <input type="button" value="全解除"/>

(ア)

タイプA タイプB

XXX-XXXX
 住所1
 住所2
 従業員
役職
 客先担当者名 様 (GENE)

コメント

プリンタ pdfA4T
 コメント

印刷開始行 (1~6) 1
 印刷開始列 (1~2) 1
 印刷ラベル数 01

基本モジュール



I -02-1_3 得意先マスター [総額表示設定]

[消費税総額表示]に対応する機能です。

消費税総額表示設定はお客様では行えません。弊社にて設定変更を行います。

一入金先単位で右の画面の内容に順じた
総額表示設定が可能ですが、総額設定を
行うにあたり、別途費用が発生するため、
画面は弊社にてパスワード管理しています。

消費税総額表示設定に対応している項目は

- ・伝票下代(入力画面含む)
- ・伝票上代(入力画面含む)
- ・請求書
- ・元帳 となっています。

また、一得意先単位に何月何日から総額表示に
対応するかといった詳細な期間設定も可能です。

総額表示機能を有効にすることで発生する端数
金額の丸め方法も指定が可能です。

The screenshot shows a Windows application window titled '得意先マスター消費税総額表示設定 (Win32 NT)'. The main title bar has '処理 (F)' and '画面印刷 (H)'. Below the title bar, there is a section titled '消費税総額表示設定' with a '削除' checkbox. The window contains several groups of settings:

- Password:** A text input field containing '011111' and a yellow background highlight.
- 伝票下代消費税総額表示:** A group of radio buttons for 'しない' (Not) and 'する' (Do), with 'しない' selected.
- 伝票上代消費税総額表示:** A group of radio buttons for 'しない' (Not) and 'する' (Do), with 'する' selected.
- 請求書消費税総額表示:** A group of radio buttons for 'しない' (Not) and 'する' (Do), with 'しない' selected.
- 元帳消費税総額表示:** A group of radio buttons for 'しない' (Not) and 'する' (Do), with 'しない' selected.
- 画面入力モード:** A group of radio buttons for '設定どおり' (As Set), '税抜統一' (Unified Tax Exempt), and '税込統一' (Unified Tax Inclusive), with '税込統一' selected.
- 税込下代単価小数桁数:** A dropdown menu set to '0'.
- 税抜下代単価端数まるめ区分:** A group of radio buttons for '切り捨て' (Round Down), '切り上げ' (Round Up), and '四捨五入' (Round Half Up), with '切り捨て' selected.
- 税込下代単価端数まるめ区分:** A group of radio buttons for '切り捨て' (Round Down), '切り上げ' (Round Up), and '四捨五入' (Round Half Up), with '切り捨て' selected.
- 税込上代単価端数まるめ区分:** A group of radio buttons for '切り捨て' (Round Down), '切り上げ' (Round Up), and '四捨五入' (Round Half Up), with '切り捨て' selected.
- 税込下代金額端数まるめ区分:** A group of radio buttons for '切り捨て' (Round Down), '切り上げ' (Round Up), and '四捨五入' (Round Half Up), with '切り捨て' selected.
- 設定有効期間:** A date range input field showing '2004/04/01 ~ 9999/12/31'.

At the bottom of the window are navigation buttons: back arrow, asterisk, forward arrow, '/0', '新規(N)', '更新(U)', and '終了(X)'.

基本モジュール



I -02-2 得意先マスター [修正]処理

[修正]説明

ここでは得意先マスターの修正について説明します。

1. 処理区分の選択

左上の[処理(F)]から[修正(E)]をマウスでクリック、またはアクセスキーを押します。

処理 (F)	画面印局
登録 (A)	
修正 (E) (Red Box)	
削除 (D)	
リスト (L) >	
一括修正	
終了 (X)	

2. 得意先の選択

得意先コードと支店コードを入力、またはスペースキーを押して得意先マスタ検索からマウスでの選択が可能です。

得意先マスタ検索

得意先コード	ナカ	得意先名	電話番号
00002		○元リリースセンター	12-3456-0002
00003		本社倉庫	12-3456-0003
00004		卸倉庫	12-3456-0004
00009		千葉営業所	12-3456-0009
00020		沖縄営業所	12-3456-0020
00050		本社別館倉庫	
0001		東光ビル	03-3876-5492
0007	-05	東光ビル銀座店	03-3876-5432
00100		株式会社○○○	
123456-		株式会社○○○ ◇◇支店	
123456-01		株式会社○○○ ××支店	
123456-02		札幌店	12-3456-0021
20021		◎渋谷店	12-3456-0022
20022		◎川口店	12-3456-0023
20023		大宮店 (閉店)	12-3456-0024
20024		原宿店	12-3456-0025
20025		八重洲店	12-3456-0026
20026		新宿店	12-3456-0027
20027		祇園店	12-3456-0028
20028		東京催事 (春秋開催)	12-3456-0029
20029		通販店舗	12-3456-0030
20030		神戸店	

リセット(B) 検索(S) 開じる(O)

3. 項目の修正

修正したい項目をマウスで選択して修正します。

得意先コード以外の修正が可能です。

※締日の変更はP.9 参照

得意先マスターメンテナンス (Win32 NT)

得意先コード: 40038 |

得意先名: 株式会社トスインターナショナル	2回線運用: 0-無
略称コード: トスイー	取扱先区分: 4-貿易 1
郵便番号: 151-0051	締日: 31
住所1: 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-24-151	回取サイクル: 2-翌月
住所2:	回取予定期: 31
電話番号: 12-3456-0038 FAX番号: 12-3456-1038	
メールアドレス:	
駅路:	
納品頻割: 0-納品可能	取引限度額: 0
ブランド: -なし	支拂: 6
入金口座: 101---きょくじつ銀行	---原宿南支店
伝票種別: 1 自社伝票 買取	7行 00000062
伝票発行: 1-有	請求書発行: 1-有
行数: 7行	繰越し金額: 216,384
割合: 100.00%	入金率: 100.00%
担当者: 000	振込手数料: 800
Faceコード:	TAX計算有無: 0-有
地区コード: -なし	TAX発生区分: 0-統合単位
送り状区分: 1-佐川急便 1(新)	TAX課税方法: 0-切り捨て

請求情報(A) DM情報(B) 結額表示設定(C) 更新(S) 呼出時(E) 中止(S) 終了(X)

得意先名を、全角20文字半角40文字以内で入力して下さい。

4. [更新]ボタン

修正したデータを登録します。

5. [呼出時]ボタン

得意先コードと支店コード以外の入力中のデータを消去します。

6. [中止]ボタン

得意先コードと支店コードも含め全ての入力中のデータを消去します

7. [終了]ボタン

基本モジュール



得意先マスターを終了し、マスター画面に戻ります。

I -02-3 得意先マスター [削除]処理

[削除]説明

ここでは得意先マスターの削除について説明します。

以下に該当する状況の場合、原則的に削除はできません。

ア)出荷明細、売上入金明細、得意先元帳に明細が存在する場合

イ)店別在庫(棚マスター)、売掛金が0以外または今期売上入金実績が存在する場合

ウ)支店が存在する場合

※ア)とウ)に該当が無く、イ)の条件のみの場合、警告表示後に削除は可能です。

1. 処理区分の選択

左上の[処理(F)]から[削除(D)]をマウスでクリック、またはアクセキーを押します。



2. 得意先の選択

得意先コードと支店コードを入力する、またはスペースキーを押して得意先マスター検索からマウスでの選択が可能です。



3. 得意先の確認

表示された得意先が削除対象であるか確認します。

4. [更新]ボタン

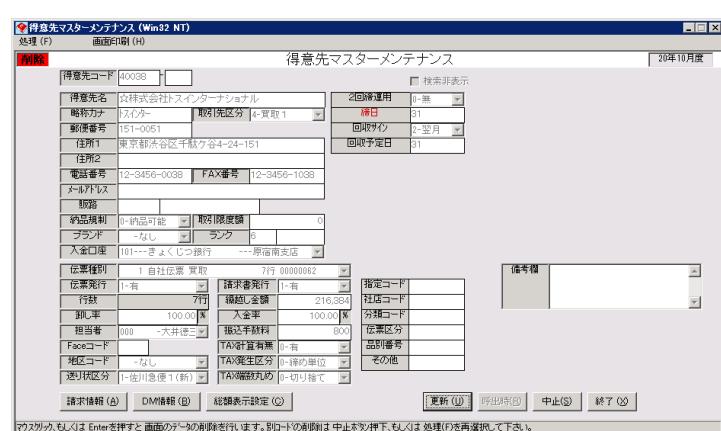
修正したデータを登録します。

5. [中止]ボタン

得意先コードと支店コードも含め全ての入力中のデータを消去します

6. [終了]ボタン

得意先マスターを終了し、マスター画面に戻ります。



基本モジュール



I -02-4 得意先マスター [リスト]処理

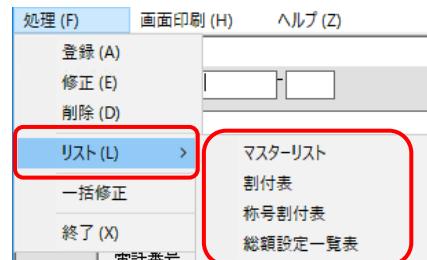
[リスト]説明

ここでは得意先マスターのリスト出力について説明します。

1. 処理区分の選択

左上の[処理(F)]から[リスト(L)]にマウスカーソルを乗せ、表示された以下の4項目から選択します。

- ① マスターリスト
- ② 割付表
- ③ 称号割付表
- ④ 総額設定一覧表



① マスターリスト

得意先マスターを一覧形式で出力します。

- ・出力先:画面上か印刷かを選択します。
- ・出力形式:マスターリスト(基本情報)または、送り先リスト(DM情報)を選択します。
- ・出力順:出力の順番を指定します。
- ・範囲:得意先コード、担当者、ブランド、部門の開始と終了の指定と、取引先区分での抽出が可能です。

基本情報を全て出力する : 全てのデータを出力します。

② 割付表

得意先のコード、得意先名、締め日、回収日項目に絞って、コード順に印刷できます。

③ 称号割付表

得意先のコード、略称カナ、得意先名、伝票種別、締め日、回収日項目に絞って、略称カナ項目の五十音順で印刷できます。

④ 総額設定一覧表

得意先マスターの総額表示設定画面で設定されている得意先ごとの総額設定情報を一覧として印刷できます。



I -02-5 得意先マスター [2回締め]処理

«この機能はオプション(有償)です»

運用を希望される方は弊社担当営業、またはサポートまでご相談下さい。

[2回締め]説明

一ヶ月に2回集金がある得意先は、当然のごとく2回締めが発生します。アパレル業界の特色でもある2回締めは下記の手順で登録し運用する事ができます。但し、オプション機能の為、必ず設定する必要があります。

■運用条件

- ・入金先単位で設定可能ですが、支店単位での設定は不可能となります。
- ・会社締間内で1回目締め日は2回目締め日を超える設定は不可能です(下記の例題参照)。
- ・販売管理 請求締め日処理を月2回行う必要があり、また請求業務も月2回行う必要があります。
- ・締め日項目は月間運用中変更することは不可能です。変更する場合、先付明細が無いことを確認し、月次更新後に変更します。

得意先マスターメンテナンス (Win32 NT)

処理 (F) 画面印刷 (H)

修正		得意先マスターメンテナンス	
得意先コード	40038	<input type="checkbox"/> 検索非表示	
得意先名	☆株式会社トスインターナショナル	2回締運用	1-有
略称力ナ	トスインター	締日	15
郵便番号	151-0051	回収サイン	2-翌月
住所1	東京都渋谷区千駄ヶ谷4-24-151	回収予定日	15
住所2		2回目締日	31
電話番号	12-3456-0038	2回目回収サイン	2-翌月
メールアドレス		2回目回収予定日	31
販路			

例題

A.

2回締運用	1-有
締日	15
回収サイン	2-翌月
回収予定日	15
2回目締日	31
2回目回収サイン	2-翌月
2回目回収予定日	31

B.

2回締運用	1-有
締日	31
回収サイン	1-当月
回収予定日	31
2回目締日	15
2回目回収サイン	2-翌月
2回目回収予定日	15

①会社締が 31 日締の場合、A.の設定は○、B.の設定は×となります。

理由は会社の締日から先にくる締日は 31 日より 15 日にほうが早くくるためです。

②会社締が 20 日締の場合、A.の設定は×、B.の設定は○となります。

理由は会社の締日から先にくる締日は 15 日より 31 日にほうが早くくるためです。

※2回締めの項目については P.5 の「B block」の表をご参照ください。